

# 多機能型事業所「うきわく」 児童発達支援・放課後等デイサービス 自己評価 集約公開表

アンケート対象職員数合計 6名

公表日: 2022年3月1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	3	3	・若干訓練室としてはスペースが狭い。 ・学習のスペースと遊びのスペースが分けられると良いのではないかと 思う。
	②	職員の配置は適切である	0	6	0	・配置数は足りているが現実的には少ない。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	1	0	・毎日清掃時に次亜塩素酸で利用者が触る部分などを消毒している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	・「毎日たのしく継続表」という月間目標を各自立て、各自業務改善及び個人の継続力向上を目指している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			・今回が初めての保護者アンケートで、集約出来次第活用していきたい。
	⑥	自己評価の結果を公開している	3	1		・今回が初めての自己評価アンケート集約で、公開予定である。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4	1		・毎月1回は必ず研修機会を設定して、全員で研修をしている。欠席者については資料配布をしている。 ・機会確保はできている。しかし、内容および会議時間については改善点があるのではと思う(改善案として、月ごとテーマ、グループワーク、ケース会議、司会の輪番、時間の設定も変える必要がある)
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5			・各個人の「課題、特性」表を作成し、職員間で情報共有している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5			・日々の計画を職員みんなで話し合って決めている。 ・学校が長期休暇時には一ヶ月間の長期活動計画を立てている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5			・いくつかの活動を用意し、利用者が飽きないように工夫している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5			・一日のスケジュール表を作成して、活動内容や職員の動きを「見える化」して取り組んでいる。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5			・個別活動と集団活動を適宜組み合わせ取り組んでいる。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・一日のスケジュール表を作成して、活動内容や職員の動きを「見える化」して取り組んでいる。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・日々、サービス提供記録をつけている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5			・今のところ、6ヶ月間をベースにモニタリングを行っている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせずして支援を行っている	4	1		・ガイドラインの研修がまだ出来ていないが、児童発達支援管理責任者を中心にして研修を行い取り組んでいきたい。	

関係機関・保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			・送迎の時間の問題もあり、学校とは毎月連携をして取り組んでいる。 ・不登校の生徒の受け入れについては学校連携をして取り組んでいる。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5			・関係事業所とは上限管理の問題もあり毎月連携している。 ・並行利用の保育所や幼稚園とは定期的に連携している。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	1		・まだ経験していない。 ・2021年4月に開所したばかりなので、まだ利用者の学校卒業生を出していない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			・保護者からの相談があった場合など発達支援センターと連携して取り組んでいる。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5			・連絡帳などを通して情報共有をしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5			・契約時、契約書の中身や重要事項については簡単ではあるが説明をし、同意並びに署名捺印をもらっている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6			・相談があればその都度相談にのっている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・来訪時によく目立つように、玄関口に「苦情受付箱」を設置している。 ・苦情は「ない」は、興味がないのか、聞けないのかを探すこともしていく方が良い様に思います。言いやすい環境を作ることが信頼へとつながるのでは思う。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			・毎月「うきわく通信」を発行して、行事予定や活動内容などを公表している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5			・個人ファイルは鍵付き事務倉庫で保管している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・連絡帳などを通して情報共有をしている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		2	3	・コロナ対策のため本年度は開催が困難であった(3名) ・SNSを活用し、空間を共有するやり方を取り入れる。
非常時などの対応	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6			・特にコロナウイルス感染防止対策については、当事業所の対策マニュアルを配布して周知徹底している。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5			・地震、火災、洪水災害を想定した避難訓練を年間計画で立てたが、火災避難訓練(10/21)しかまだ実施できていない。
	㉜	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・毎月、各自「虐待防止チェックシート」を記入して綴っている。
	㉝	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5			・身体拘束の事例はありません。
	㉞	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5			・投薬が必要な場合は、予薬依頼書をお渡しし、医師による投与処方をご記入頂いてから、日々の投薬チェックを行う体制をとっている。
	㉟	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5			・日々のヒヤリハット事例を記録して綴り、職員内で事例を共有している。

### 保護者評価・自己評価についての「まとめ」と「改善対策」

- ・昨年の4月に事業所としては開所したばかりなので、今回が初めての「保護者評価・自己評価」になります。そのために回答しにくい項目もあったかとは思いますが、アンケートへのご協力ありがとうございました。
- ・保護者評価で「わかりません」という回答が数件ありましたが、昨年末の11月、12月に利用契約をされた方が5名おられました。利用日数が少ない中でのご回答ということで、ご記入が難しかったと思います。
- ・活動スペースの問題については、併設する運動器具付き活動場所の並行利用で補完しています。なお今春には、活動スペースの広い場所(下加茂地区)に移転計画中です。
- ・「利用者が一人で外に出ている」というご指摘ありがとうございます。玄関前の道路の交通量が多く危険な状態なので玄関扉の3ヶ所に施錠をし、「利用者の安全のために施錠のご協力をお願いします」というステッカーを張らせてもらいました。交通量の比較的少ない加茂に移転すれば大丈夫だとは思いますが、引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。
- ・職員配置については行政基準を満たしていますが、忙しい時には同法人内の他事業所より応援体制を敷いています。
- ・非常災害時の避難訓練については、洪水(6月)、火災(10月)、地震(2月)を想定して、年3回の実施計画を立てています。火災避難訓練については10/21に芦田消防署のご協力のもと、消防自動車の見学や職員の通報訓練及び水消火器による消火訓練を実施することが出来ました。
- ・苦情窓口の問題については、当初施設内の奥に設置していましたが、来訪される保護者の方にも分かるようにと玄関口に設置したのが11月になってからでした。そのために分かりづらかったこともあるかと思いますが、「苦情」については、利用者及び保護者の方が、相談しやすい環境を作っていくかなければならないと思いますので工夫していきたいと思っております。
- ・地域に開かれた事業所運営については、課題が多い結果となりました。SNSを活用し、空間を共有していくやり方等も含めて、来年度しっかりと取り組んでいきたいと思っております。
- ・「利用時間の柔軟な対応」については、当事業所の良いところだと自負しているところですが、物理的な限界もありますのでその都度ご相談してくださいとさせていただきます。
- ・「通所を楽しみにしている」という利用者の回答が多かったことについては、事業所としても大変うれしく今後の励みにしていきたいと思っております。それと同時に、より質の高いサービスが提供していけるように活動内容を工夫したり、職員一人一人のスキルアップを図っていきたく思います。